

大木のような成長を



谷川建設 新入社員

社会人初の地域貢献活動

（株）谷川建設（長崎市・谷川喜一社長）の2008年度新入社員11人らは1日から行われている新人研修に、入社記念と環

境問題への取り組みとして、研修メニューに組み込まれたもの。同社は企業活動の中で、資材段階や生産段階などで、さまざまな環境への取り組みを行っている。植樹参加は、地域活動での取り組みの一環。目的は、木造住宅会社として、『木』への感謝を込めたもの。また地球環境保全対策として、CO2削減への協力と位置付けている。

当日は天候に恵まれ、担当指導員の指示のもと鍬を手にした新入社員らは、ヒノキ200本、楓20本、山桜30本を植樹。社会人として初めての地域貢献活動を体験した。作業後には、それぞれの将来の希望を書いた板に



願いを込めて、活動を終了した。新入社員の赤峰太一さんは「本日植えた苗木は、逞しく成長していくと思

います。その木に負けないように、社会人として自身も成長しなければなりません。いずれは自分が植えた木で、家を建てたい」と希望に満ちた感想。新人研修担当の総務部の田丸昌和部長は「谷川建設が扱うこだわりの建材『ヒノキ』のように、新入社員にも真つすぐに伸びる木のように、大きく育ってほしい」と語り、今後の成長に期待を寄せた。